

昭和50年の発足以来、
武蔵野市をはじめ都内各地の
文化や歴史を学びながら、
散策を楽しんでいる武蔵野市郷土史会。
1日1万5000歩ほど歩き、
健康を維持しながら活動しています。



武蔵野市郷土史会4代会長の羽島脩一さん(左)と、会員の前谷悟さん。

見過ごしていた場所に
知られる歴史や文化が

武蔵野市郷土史会は、もともと
昭和50年4月、市教育委員会主催
の「第一回文化財連続講座」を受
講した有志13名で創立しました。
現在の会員は43名です。

創立以来、活動の柱としてきた
のが史跡巡りです。現在は年9
回、東京都内をフィールドとして
開催しています。毎回持ち回りで
担当者に選ばれた人が案内とな
り、歴史的背景などを説明しなが
ら皆で現地を散策します。担当者
は、まず市役所などを訪れてパン
フレットなどの資料を集め、実際
に現地を歩いて調査し、内容を決
めています。当日は午前9時集
合、お昼前に解散という行程で、
1日1万5000歩ほど歩きま
す。「活動を通じて、今まで見過
ごしていた場所に実は文化や歴史
が秘められていることがわかり、
感慨深いです」と会長の羽島脩一
さん。

たとえば最近では「千代田区の
歴史と文化散策」をテーマに、吉

祥寺のルーツを学びながら歩き
ました。太田道灌が江戸城築城の
際に井戸を掘ったところ「吉祥増
上」と印された金印が発見され、
たいへん縁起が良いとして城内に
建立された寺院が「吉祥寺」の始
まりといわれています。寺院の吉
祥寺は天正19年に現在の水道橋近
くに移り、明暦の大火後、文京区
本駒込に移されました。

市と連携した講演会も開催

そのほか、会員向けの座学と、
一般に向けた講演会をそれぞれ年
1回開催しています。今年度は、
新たに市の提案募集に応募し、中
島飛行機などをテーマにした「は
らっぱ公園の歴史」講演会を共催
で行いました。「謎が多い中世の
武蔵野研究も興味をそそられる分
野です。みんなで楽しく学び続け
たいですね」。

武蔵野市 郷土史会

活動日時は、第2日曜
日の午前9時～。会
費は年額2000円。会
員随時募集中。
入会希望者は下記
まで。

問：羽島脩一
☎090-4612-5858



散策の様子。この日のテーマは
「北区の歴史と文化散策」。



この日の担当者が説明をしなが
ら現地を案内する。



参加者みんなで記念撮影。

その回の担当者が、
事前に調べたことをまとめた
レジュメが会員に配られる。

